

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、お客様、取引先、投資家、地域社会、従業員をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働により、「穀物ソリューション・カンパニー」として人々の健康で豊かな食生活に貢献し続けてまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、経済の持続的発展ならびに持続的な企業価値の向上につながると考えます。この観点から、当社は従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、人財は企業の持続的成長を支える最も重要な経営資本と位置付けており、人財への戦略的な投資を継続的に行うことで、「企業の持続的成長」および「従業員のウェルビーイング向上」を実現します。従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。

その上で、生み出した収益・成果に基づいて、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人財投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、賃金の引上げについては、経済情勢や社会動向、自社の経営環境を踏まえて役割や成果に応じた適正な配分（賃金の引上げ、賞与等）を行うとともに、人財投資については、研修等の拡充による自律的なキャリア形成の支援や次世代経営人財の育成、職場環境の改善等によるエンゲージメント向上やダイバーシティの更なる推進等に取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2024年1月4日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/48508-05-01-tokyo.pdf>】

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めてまいります。

以上

2024年 1月 19日

昭和産業株式会社

法人名

代表取締役社長執行役員 塚越 英行

役職・氏名（代表権を有する者）